



社協だより

# かこがわ

2023 July

7

No.278

編集・発行：社会福祉法人  
加古川市社会福祉協議会

## 大型絵本でわくわく 楽しいひとときを!



加古川市社会福祉協議会では、大型絵本の貸し出しを行っています。

貸し出しは団体だけでなく個人でも可能で、総合福祉会館 2 階フリースペースに貸出用大型絵本 43 冊を展示しています。

貸出希望の方は、総合福祉会館 1 階総合案内にお声かけください。



もくじ

令和 4 年度事業報告、決算報告…… 2・3  
地域の虹…… 4・5  
第10期小地域福祉活動モデル地区…… 6

善意銀行事業報告、善意銀行だより…… 7  
お知らせ…… 8

# 令和4年度 事業報告



加古川市社会福祉協議会（以下、「社協」という。）では、第4期地域福祉推進計画に基づき、さまざまな事業を実施しています。

## 1 住民主体のお互いさまの地域づくり

### ●生活支援体制整備事業（加古川市受託事業）

住民ニーズに応じた生活支援のしくみづくりのため、市内12中学校区エリアごとに、生活支援コーディネーターを配置して、地域の実情把握や、新たな担い手養成などに取り組みました。

また、町内会連合会、地元企業、福祉事業所などの多様な団体と連携して「ささえあい協議会」を運営し、地域福祉活動を進めるためのネットワークを強化しました。

### ●小地域福祉活動モデル地区指定事業

市内の単位町内会（3カ所）をモデル地区に指定し、町内会役員、民生委員・児童委員、ボランティアなどに呼びかけ、地域での見守り・ささえあいなどを協議する定期的な「ささえあい会議」を開催しました。

社協職員も参画し、住民主体の地域福祉活動を進めました。



▲中津町内会 ささえあい会議

## 2 認め合い、ささえあいの輪が広がる人づくり

### ●ボランティア活動の推進事業

多くの市民がボランティア活動に参画できるよう、WEB、SNSを活用した「ボランティア情報発信」を進めました。その一つとしてボランティアセンター「LINE公式アカウント」を立ち上げ、市内の関係機関と連携し、イベントやボランティア募集情報の発信に積極的に取り組みました。

また、「災害時等相互協力協定団体」とのミーティングや「3市2町ボランティアセンター連絡会」などの定期開催を通じて、他機関との連携・協働体制づくりを進めました。



▲ボランティアセンター LINE公式アカウント

## 3 誰もが安心して相談できる支援ネットワークづくり

### ●相談支援のしくみづくり

多職種連携・協働に関する研修会を開催し、市内の相談支援ネットワークづくりに努めました。また、商業施設での出前相談や弁護士会・司法書士会・社会福祉士会・地域包括支援センターとの協働による合同相談も開催し、多様な相談支援のしくみづくりを進めました。

### ●調査研究等の取り組み

法人後見実施に向けた先進地視察の実施、新たな権利擁護支援としての仕組みづくり（金銭管理アプリ）の実証実験への参画、独自の貧困対策支援のあり方を検討するなど、必要な支援についての調査研究を進めました。

### ●地域の人材育成の取り組み

社会福祉士実習生を積極的に受け入れ、地域福祉の未来を支える人材の育成を進めました。また、社協の主任相談支援専門員が、市内他事業所の相談支援専門員との事例検討などを実施し、社協内にとどまることなく、地域の相談支援体制強化についての取り組みを進めました。

## 4 社会福祉協議会の機能強化に向けた基盤づくり

### ●組織体制の強化

理事会、評議員会、各種委員会を開催し、市内関係団体との連携を強化するなど、地域福祉の推進を担う健全な組織運営に努めました。

### ●広報力の強化による社協活動のPR

社協のPR活動として、写真の投稿を中心としたInstagramやフェイスブックの活用を強化しました。

### ●職員養成による組織力の強化

福祉専門職としての資質向上と人材育成に取り組み、事務局体制の強化に努めました。

また、各種規程の整備に取り組み、働きやすい職場環境づくりを進めました。



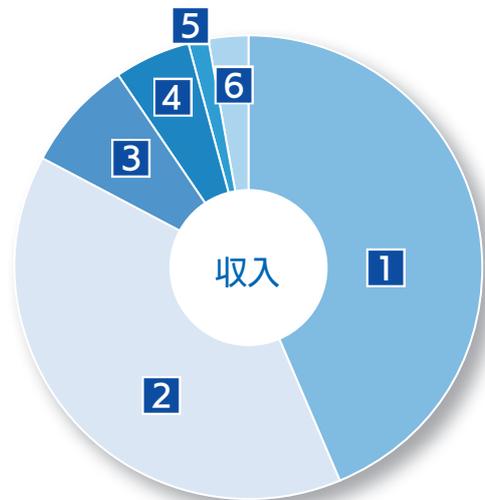
▲投稿写真

# 令和4年度 決算報告



収入合計：355,424,851円

- |                                    |                                      |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 受託金収入<br>155,380,586円(43.7%)     | 4 障害福祉サービス等事業収入<br>18,982,184円(5.3%) |
| 2 経常経費補助金収入<br>139,283,706円(39.2%) | 5 寄附金収入<br>5,028,696円(1.4%)          |
| 3 会費収入<br>27,700,800円(7.8%)        | 6 その他の収入<br>9,048,879円(2.6%)         |



支出合計：361,200,138円

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| 1 受託事業<br>109,308,859円(30.3%)                  | 5 当事者支援事業<br>23,988,858円(6.6%)     |
| 2 法人運営事業<br>95,747,797円(26.5%)                 | 6 障害福祉サービス等事業<br>22,451,947円(6.2%) |
| 3 小地域福祉活動<br>・ボランティア推進事業<br>58,322,303円(16.2%) | 7 その他の活動支出<br>12,216,920円(3.4%)    |
| 4 福祉会館運営事業<br>39,163,454円(10.8%)               |                                    |

問合先 加古川市社会福祉協議会 総務係 TEL:079(424)4318(代)

# 地域の虹

ちいきのにじ



VOL.12

現在、市内の中学校区内で取り組んでいる「ささえあい協議会」は、高齢社会の進行を踏まえ、校区内の各種団体が連携し、地域独特のささえあいのしくみづくりを進めています。

今回は、加古川北ささえあい協議会(以下、「協議会」という。)の取り組みをご紹介します。

神野町、新神野、八幡地区で構成する協議会では、それぞれが抱える地域課題の解決に向けて、地域性に応じた取り組みを進めるため、各エリアでワーキングチームを結成しました。そして、3エリアともに、住民同士のつながりを深め、互いに助け合い・ささえあえる地域づくりを進めています。

## 神野町

地域の困りごと(ニーズ)を把握するため、70歳以上の高齢者を対象にしたアンケート調査を実施しました。アンケート結果を受けて、通院や買い物などの「移動支援」や、身近な場所で住民同士が交流できる「通いの場づくり」、住民が抱える生活上の悩みや困りごとなど、「地域課題を受け止める場づくり」に取り組んでいます。

なかでも高岡町内会は、「移動支援」のモデル地区として毎週月曜日、町内2カ所に移動販売車が来ています。毎回20人ほどが買い物に來られ、買い物の後におしゃべりを楽しむなど、買い物不便の解消だけでなく、新たな交流の場となっています。



▲移動販売 (高岡会館横)

## 新神野

高齢者が抱える生活上のちょっとした困りごとへの支援が必要という協議から、まず、足の不自由な高齢者へのゴミ出し支援を進めることになりました。現在、モデル的に6丁目町内会で、ゴミ集積場へ搬出することが困難な高齢者に代わり、地域のボランティアがゴミ出しを手伝っています。収集時には声かけをすることで、対象者の見守り活動も兼ねています。

また、助け合い活動の普及啓発として、新神野独自の「共助スローガン」を決め、新神野会館、町内の集会所や掲示板、地域にある事業所などにポスターを掲示する予定です。

そのほか、住民同士のつながりを深めるため、世代間交流などのイベント活動の実施に向けて協議していきます。



▲ゴミ出しボランティア

## 八幡地区

住民相互の交流づくりに向けた取り組みとして、昨年11月と今年3月に、八幡町を流れる草谷川の遊歩道や八幡ふれあい交流館を利用した「八幡ふれあいウォーキング&カフェ」を開催しました。

いずれも100人以上の参加者がありました。ウォーキングは健康増進やフレイル予防に役立ち、カフェではお茶を飲みながらのおしゃべりやゲームを楽しみ、体力測定を通じて、健康意識を高めてもらうことができました。

また、各種団体同士の関係性も深まり、地域力アップにつながるイベントになりました。

参加者からは、「しばらく歩くことがなかったが、友達と一緒に楽しくウォーキングできた」、「日頃、会えていない方や町内以外の方と会話ができて嬉しかった」、「今後も継続して開催してほしい」といった声が聞かれました。

今後、八幡地区の年中行事として、春と秋に開催することになりました。



▲ふれあいウォーキング



▲「八幡ふれあい交流館」横のカフェ



▲スマートフォン講座

他にも、住民が交流する機会づくりの一つとして、今年2月、「スマートフォン講座」を実施しました。

スマートフォン操作を教え合うことで、参加者同士の距離が縮まり、同じ地域に暮らす住民相互のささえあい意識の醸成にもつながっています。

### 最後に

協議会では、このような各エリアの取り組みを報告し、共有する場となっています。協議会メンバー同士が共感し、地域に活気あるやさしい輪が広がっていくよう、これからも取り組みを進めていきます。

社協には、各地区担当の生活支援コーディネーターを配置しています。  
地域活動で気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

問合せ先：地域福祉推進係 TEL：079(424)4318(代)

# 第10期 小地域福祉活動モデル地区指定事業

(令和4年10月～令和5年3月)

社協では、身近な生活圏域でのささえあい活動の普及を推進するため、年度ごとに市内単位町内会(自治会)を「小地域福祉活動モデル地区」(以下、「モデル地区」という。)に指定しています。第10期モデル地区 山角町内会では、10月から翌年3月の期間において、住民の抱える生活課題に対して、住民同士でささえあえるしくみづくりを進めました。

## 平荘町 山角町内会の活動

約160世帯

山角町内会は、加古川市の北東部に位置しており、神社を中心とした秋祭りが盛んな地域です。このモデル地区指定を受け、町内でのささえあいの取り組みを進めるために、民生委員・児童委員と民生協力委員が中心となり「山角ささえあい会議」を開催しています。



▲山角ささえあい会議

### 気軽に話せるつどいの場づくり

「山角ささえあい会議」では、住民相互の気にか合いや困っている人を助け合えるしくみづくりを検討しました。

「住民が気軽に集える場が少ない」という現状に着眼し、住民アンケートを通してサークル活動(写経、ウォーキングなど)を立ち上げ、参加しながら普段の生活の様子を話せる場をつくりました。また、子どもたちを対象に季節行事を企画し実施しました。

### サークル活動から生まれるコミュニケーション

サークル活動では、回を重ねるごとに参加者同士のコミュニケーションが活発となり、健康面を気遣ったり、生活の困りごとを話し合う様子がみられるようになっていきます。

また、サークル活動に参加できない人に対しても、声かけやさりげない見守りをするなど、自主的な見守り活動につながっています。



▲サークル活動(歩こう会)



▲佐伯亮太さんとの懇談

### ささえあいのしくみづくりを進めるために…

今後さらに町内のささえあいを広げていくため、Roof.LLC 共同代表 佐伯亮太<sup>さへきりょうた</sup>さんから、ささえあい活動を進める上でのヒントを教えてくださいました。

「気軽な雑談から住民がつながり、自主的なサークル活動がたくさん生まれることが重要」とのお話を受けて、活動上のポイントを確認し合いました。

### 気にかける地域を目指して

「モデル地区指定を受けたことで、住民同士が集い合える場のきっかけができました。これから活動を継続し、住民相互に気にかけるつながりのある地域にしていきたい」と山角ささえあい会議 谷川一成<sup>たにがわがさなり</sup>代表は語ってくれました。



# 令和4年度 善意銀行事業報告



加古川市善意銀行にお寄せいただきました寄付金と物品で運営された事業の一部を紹介  
します。

皆さまの善意により、これらの事業を実施することができました。深く感謝申し上げます。

## 交通遺児支援事業 50,000円

保護者を交通事故で亡くされた市内の小・中学生を対象に、7月には図書カードを4人に、  
3月にはQUOカードを卒業生1人にお渡ししました。

## 災害見舞金 70,000円

市内で発生した火災などの災害による被災者2世帯に見舞金・弔慰金をお渡ししました。

## 児童養護施設卒業生支援事業 330,000円

児童養護施設を退所する卒業生11人に、進学や就職に向けての準備・自立支援のため、  
QUOカードをお渡ししました。

### <食料品などの提供数>

お米	15,275kg
カップ麺	1,708個
飲料水	1,565本
レトルト食品	70個
缶詰	45個
その他	45件

## 原爆被爆者義援金 40,000円

広島市・長崎市へ義援金をお送りしました。

## 生活困窮者支援事業 86,276円

生活困窮者世帯に提供する食料品などを購入  
しました。

## 食料品等支援整備事業

市内企業から、お米やレトルト食品などをいただき、生活にお困り  
の相談者や子ども食堂、児童養護施設にお渡ししました。



# 善意銀行だより

たくさんの善意をありがとうございました。



### ●預託状況一覧

(令和5年4月1日~令和5年5月31日取り扱い分) (敬称略)

氏名・団体名	金額	氏名・団体名	金額	氏名・団体名	金額
中野喜人	10,000	川柳ニューサロン	3,000	K・Y	36,500
M・S	10,000	U・N	3,000	嘉通会	6,234
匿名	10,000	美乃利シニアクラブ	2,000	Y・T	10,000
匿名	175,121	アミパラ加古川店	300,000	チャッピー	2,000
匿名	50,000	匿名	10,000	川柳ニューサロン	3,000
チャッピー	2,000	匿名	2,032	S・F	30,000
土山住宅 橋本慎吾	10,500	U・N	3,000	T・ヒロシ	1,000

〈小計〉(21件) 679,387円 〈令和5年度累計〉(21件) 679,387円



# お知らせ

## 県民ボランティア活動助成

ひょうごボランティアプラザでは、皆さまの地域活動への主体的な参加を促し、ボランティア活動の裾野を拡大するとともに、活動の安定的かつ継続的な発展を図ることを目的として活動助成を実施しています。今年度、助成金の交付を受けようとするグループ・団体は、エントリー（事前申込）が必要です。



かこちゃん®

**助成額** 1団体あたり上限20,000円

※エントリー受理数により助成額を決定しますので、減額になる場合があります。

※県外活動は助成対象外となります。

**受付期間** 7月3日(月)～8月10日(木)

**エントリー方法** 社協で所定のエントリー書を受け取り、必要事項を記入の上、提出してください。

※申請にはいくつかの条件があります。詳細は、パンフレットをご確認ください。

**問合せ先** まちづくり・ボランティア推進係 TEL:079(424) 4318(代)

(土日祝を除く9:00～17:00)



## 高等学校・専門学校・大学などへの進学を応援します～学費の相談～

社協には、低所得世帯に対し、進学・在学中に必要な費用をお貸しする「生活福祉資金(教育支援資金)貸付制度」があります。高校・専門学校・大学などの入学前はもちろん在学中の相談も受けています。

**対象者** 下記のすべてを満たす世帯

- ①兵庫県内の同一地域に6カ月以上、居住している世帯
- ②世帯収入が市民税非課税世帯程度 または、生活保護基準の1.8倍程度の所得の世帯
- ③他からの融資を受けることが困難、または融資を受けても進学が困難な世帯

他の制度利用が  
優先です

**貸付限度額** ・就学支度費 500,000円

・教育支援費 月額 35,000円～65,000円(学校種別により異なる)

**返済方法** 卒業後、20年以内に月賦償還 **貸付利子** 無利子

**問合せ先** 権利擁護支援係 TEL: 079(424)4320

(土日祝、年末年始を除く9:00～16:00)



貸し付けには審査があり、申し込みから決定まで約1カ月半かかります。

お早めにご相談をお願いいたします。



### 社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会

〒675-8577 加古川市加古川町寺家町177-12 (加古川市総合福祉会館内)  
TEL:079(424)4318(代) FAX:079(425)4711



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

■住民基本台帳人口	259,382人(男性127,026人/女性132,356人)
■年少人口(14歳まで)	31,640人(男性16,332人/女性15,308人)
■高齢者人口(65歳以上)	74,009人(男性32,624人/女性41,385人)
■高齢化率	28.53%(令和5.5.1現在)